

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	本田 治	所 属	経済情報学部
学 位	博士(工学)	職 位	准教授
専門分野	情報ネットワーク		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	基礎演習I、専門演習I、専門演習II、情報科学入門、情報活用基礎、ネットワーク科学、情報ネットワーク		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>(1) Junichi Murayama, Osamu Honda, Hiroyuki Ohsaki and Makoto Imase, "Hybrid path allocation scheme (HyPAS) for multilayer networks," IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering Special Issue: Special Issue on Electronics, Information and Systems vol. 6, pp.74-81, Oct. 2011.</p>			
<p>(2) O. Honda, H. Ohsaki, M. Imase, and K. Matsuda, "RING-VPN: Ring-based virtual private network supporting a large number of VPNs," World Scientific and Engineering Academy and Society (WSEAS) Transaction on Communications, Issue 9, Volume 6, pp. 789-795, Sep. 2007.</p>			
<p>(3) 杉山 浩平, 本田 治, 大崎 博之, 今瀬 真, "ネットワーク分析手法による企業間の取引関係ネットワークの構造分析," 日本社会情報学会, Jul. 2006</p>			
<p>(4) 本田 治, 原 義弘, 大崎 博之, 今瀬 真, 丸吉 政博, 松田 和浩, "利用者が複数の VPN に多重帰属できる VPN アーキテクチャの提案と実装," 情報処理学会論文誌, pp. 2236-2246, Jul. 2006</p>			
<p>(5) 本田 治, 大崎 博之, 今瀬 真, 村山 純一, 松田 和浩, "任意の公平性を実現できるスケーラブル IP-VPN フロー制御機構," 電子情報通信学会論文誌 B, pp.1454-1467, Oct. 2005</p>			
本年度を含む過去5年間の研究業績			

(1) Junichi Murayama, Osamu Honda, Hiroyuki Ohsaki and Makoto Imase, "Hybrid path allocation scheme (HyPAS) for multilayer networks," IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering Special Issue: Special Issue on Electronics, Information and Systems vol. 6, pp.74-81, Oct. 2011.

(2) O. Honda, H. Ohsaki, M. Imase, and K. Matsuda, "RING-VPN: Ring-based virtual private network supporting a large number of VPNs," World Scientific and Engineering Academy and Society (WSEAS) Transaction on Communications, Issue 9, Volume 6, pp. 789-795, Sep. 2007.

(3) 小川長、本田治, "コモディティ化市場における差別化と同質化(Ⅱ) - シミュレーション分析によるアプローチ", 日本情報経営学会第64回全国大会, Jun., 2012

(4) 小川長、本田治, "コモディティ化市場における差別化と同質化 - シミュレーションによるアプローチ-", 日本情報経営学会 第63回全国大会, Nov. 2011.

(5) 大津優, 本田治, "ノード間の距離を考慮したスケールフリーネットワークの生成モデルの提案とシミュレーションによる評価," 尾道大学経済情報論集, 第11巻 第1号, pp.211-218, Jun. 2011.

現在の研究テーマ (3つまで)

(1) トポロジー抽象化

(2) コモディティ化

(3) GMPLS

研究テーマの
進捗状況

トポロジー抽象化については停滞しており、本年度にてこを入れる予定である。GMPLSについては今年度は新しいテーマを見つけるか変更する予定である。コモディティ化は比較的順調である。

学会、所属団体における活動

所属学会・所属団体 役職等

情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、中四国商経学会(すべて正員)

Ⅲ 社会活動

学外活動

尾道サイクリング協会理事